

JAHIS実証実験2013 説明資料(共通編)

JAHISデータ互換性専門委員会

共通情報編

I. 実施要項

(1) 実証実験の日程、会場

- ・ 日時: 2013年10月28日(月)～11月1日(金) 午前9時～午後5時
- ・ 場所: 東京都立産業貿易センター浜松町館(IHE-J コネクタソン会場)

(2) 実施予定テーマ

- ・ 全2テーマ。(データ互換性の患者基本情報、オーダ情報(処方))
※参加状況によって最終決定する予定

(3) 参加予定会社

- ・ 全5社。(富士通、NEC、日立、IBM、SSI)※参加表明待ち

(4) 費用負担

- ・ 実証実験に関わる自社の費用(作業費、旅費、機器費用など)は各社の負担。
- ・ 実証実験会場費はコネクタソン参加費のみとし、参加費は徴収しない。

(5) 問い合わせ

- ・ 今回の実証実験の専用のMLを開設し、そこで連絡事項やQAなどを行う予定。

共通情報編

I. 実施要項

(6) 今年度の主なトピック

- ・ 処方データ交換規約Ver.2.1への対応(処方)
 - －JAMI標準用法マスタの採用
 - －RXE-3, IN1-3の値のセット方法の変更(””の使用)
 - －HOTコードやJHSP表のCS名の変更
- ・ 様々な用法への取り組み(処方)
 - －内服薬の隔日投与
- ・ 審査方法の改善
 - －コード変換を行う場合は所定の書式でのコード変換表の提出を求める
 - －審査員向け説明会を本番開始前に行う
 - －問題があっても一通り審査することで審査効率を改善する
- ・ Web審査支援ツールの改善(予定)
 - －審査員別ジョブ一覧機能
 - －審査の「保留」機能
 - －審査員、参加者間のコミュニケーション機能
 - －メッセージ・アップロード時の自動チェック機能 etc.

共通情報編

II. 参加会社と参加テーマ

- ・ 8月下旬のWGで参加テーマを表明していただき、その場で実施テーマを最終決定する予定

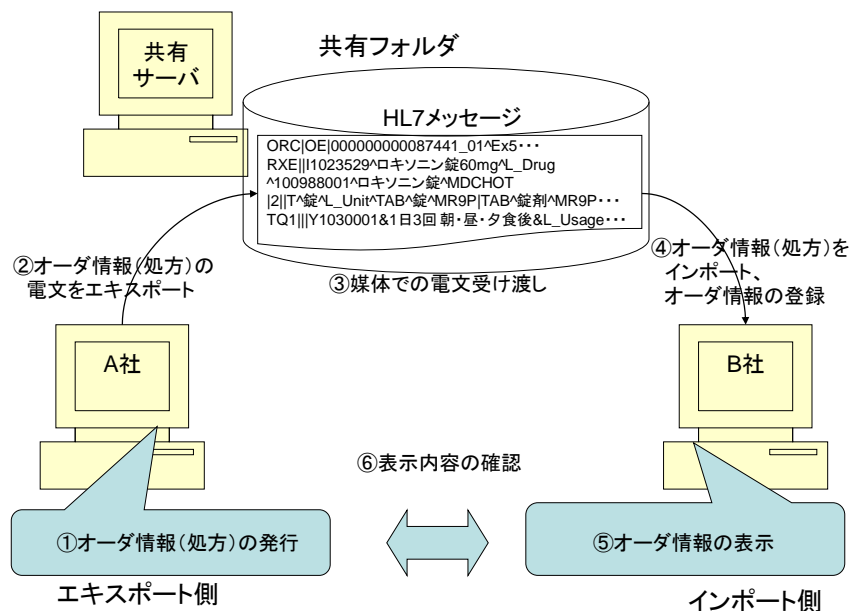
	データ互換性	
	患者基本情報 ※必須テーマ	オーダー情報(処方)
富士通(株)		
日本電気(株)		
(株)日立製作所		
日本アイ・ビー・エム(株)		
(株)ソフトウェアサービス		

共通情報編

Ⅲ. 実験概要

各テーマごとにシナリオを策定し、そのシナリオに沿って実験。

(1) 実験概念図



データの互換性

(互換) シナリオに基づいたエキスポートデータを共有サーバの共有フォルダにup。インポート側のシステムは、そのファイルを取り込み確認。

共通情報編

(2)判定方法

- 各テストの合否判定
→審査支援ツールを使用した審査員による目視(電文、画面、ログ)判定
(審査員は各社から最低1名参加し、対戦会社以外の審査員が審査を担当する。)
※エクスポートの審査はエクスポート会社以外の審査員であれば審査可能とする。
- システムとしての合否判定
→最低3社との相互接続完了で合格(参加会社の少ないテーマは2社でも可。)

(3)実験結果の反映

実験当日:Web画面にリアルタイムで掲示予定

実験後:星取り表としてJAHISホームページ上に掲載予定

星取り表(JAHIS実証実験2012の結果)

参加会社名	患者基本情報	オーダー情報(注射) ／実施情報(注射)
(株)ソフトウェアサービス	○	○
日本アイ・ビー・エム(株)	○	○
日本電気(株)	○	○
(株)日立製作所	○	○
富士通(株)	○	○

共通情報編

(4)成果物

実験終了後、エクスポート／インポート共に下記資料を提出

- ・2種類のログ(メッセージ・ログ、アプリケーション・ログ)
- ・自社システムの画面ハードコピー、データベースのダンプ内容

報告書は作成せず反省会で代替する

メッセージ・ログの例

```
MSH|^~\&|ifProcHL7||RECEIVE||20080205163620.327||ADT^A28^ADT_ZA
1|20080205163620327|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
ZVN||20080205163620||20004^実証^冬子^~~~~L~~~~^~^ジッショウ^フユコ
~~~~L~~~~P|20070130160934|^1310335068010060^KC16
PID|||1301001^P||IBM^患一郎^~~~~L^~^アイビーエム^カンイチロウ
~~~~L^P|19650415|M||東京都中央区日本橋箱崎町19-21
^^^1038510^H|13|03-3808-4402^PRN^PH-03-3808-4447^EMR^PH|03-
3808-
4421^WPN^PH|||||||||||||N|||20070130160934|^1310335068010060^KC16
...
```

アプリケーション・ログの例

```
02/07 13:30:48 D (C)受信したメッセージの解析結果を
E:\ciscv300.std9\bin\log\02-1.基本情報-20080207133048-msg-rcv.txt に保
存します...
02/07 13:30:48 I ZVNセグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I PIDセグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I NK1セグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I 解析結果は以下の通りです
02/07 13:30:48 D [基本] 患者ID=/1501001/
02/07 13:30:48 D 患者氏名(漢字)=/SSI 患者基本/
...
```

画面例

The screenshot shows a medical information system window titled 'CAN-1000 (Ver. 01-01 1.3.3-P23)'. The patient information is as follows:

氏名	秋葉原東京	性別	男性	年齢	28歳 10ヶ月	入院年月日	2006年1月31日	患者番号	0001000042
カカク	アキハバラトウキョウ	生年月日	1977年3月5日	血液型		診療科		診療科	
病名1		病名2		主治医		担当看護婦			
入院方法									
住所	〒1670021 東京都杉並区井草3-2-1								
電話番号1	03-1234-5679			電話番号2					
看護度		看護区分		安静度		食種			
体温		血圧		脈拍		薬管理			

Additional tabs and sections visible include: 一般検温, 重症検温, 入院室, 健康知覚/健康管理, 栄養/代謝, 排泄, 活動/運動, 睡眠/休息, 認知/知覚, 自己概念.

共通情報編

IV. 技術説明

(1) 参照する技術情報(優先順位の高い順)

1. JAHIS基本データセット適用ガイドライン Ver. 2.1

http://www.jahis.jp/jahis_hyojyun/seiteizumi_hyojyun-3/g11-103/

※ただし、処方については、処方データ交換規約Ver.2.1で変更になった部分は
処方データ交換規約を優先する。詳細は処方のテーマ別説明資料を参照のこと。

2. JAHIS標準規約

1)病名情報データ交換規約 Ver. 2.0

<http://www.jahis.jp/11-003/>

2)処方データ交換規約 Ver. 2.1

http://www.jahis.jp/jahis_standard13-004/

3.HL7 V2.5 (アクセスキーでの認証あり)

<http://www.hl7.jp/>

共通情報編

IV. 技術説明

(2) 昨年度からの主な変更点

- ・コード変換する場合、ローカル・コードと標準コードの対応表を別途提出する。
- ・最大長の審査は、コメントなど可変長のフィールドのみを審査の対象とする。
- ・必須フィールドにセットする値がない場合は、代わりに「””」をセットする。

(3) その他注意点

- ・HL7協会の適合性認定で指摘された内容のうちJAHIS標準、適用ガイドラインと矛盾しないもの
 - －住所・区分コードは出力しない。(患者)
 - －ORC-18(入力装置)にコーディング・システム名を出力する。(処方)
 - －RXR-2(部位)ではコード表としてHL70550を使用する。それに伴ってRXR-6(投薬現場モディファイア)を使用する。(処方)
 - －「使用上のルール」に則って審査支援ツールを使用する。
- ・ポリシー値
 - －コード変換する場合もポリシー値は○とする。

共通情報編

IV. 技術説明

(3) その他注意点(続き)

・備考欄への記載要件の緩和

- ーコメントを含むすべての項目でカタカナ、記号の全角、半角の違いは問わない。(ポリシー値は○)
- ー日付(和暦を除く)、時刻、郵便番号、電話番号のフォーマットの違いは問わない。(ポリシー値は○)
- ー予定時刻の秒の有無や違いは問わない。(ポリシー値は○)
- ー名称をマスターから取得して出力／取り込む／表示する場合は備考欄への記載は不要とする。(ポリシー値は▲)

・その他

- ーエクスポート審査時の比較対象は画面ではなくDB内のデータとする
- ーDBの内容を出力するスクリプトの準備を求める
- ー新たに○にする項目(テーマごとに1個以上)を参加各社が事前に表明する(努力目標)
- ーインポート時にデータが長すぎて取り込めない場合はエラーリストに出力する(形式は任意。どのフィールドが原因かは出力できなくてよい。)
- ー実験当日に「**最大長**」という**ダミー会社**の確認用のメッセージファイルをインポートして、エラーリストに出力されることを審査する

共通情報編

IV. 技術説明

(4) 患者IDの命名規則、桁数

××△△****

・桁数:10桁

・命名規則

××:会社ごとに割り振る一意な番号(参加会社で一意)

△△:テーマごとに割り振る一意な番号

*****:任意の数字

※××△△は以下の通り

会社ID(上2桁XX)	参加会社名	データの互換性のテーマ	
		①患者情報 (基本情報)	③オーダ情報 (処方)
		テーマID:01	テーマID:03
11	富士通(株)	1101000***	1103000***
12	日本電気(株)	1201000***	1203000***
13	日本アイ・ビー・エム(株)	1301000***	1303000***
14	(株)日立製作所	1401000***	1403000***
15	(株)ソフトウェアサービス	1501000***	1503000***

共通情報編

IV. 技術説明

(5) 使用する共通マスター 利用者マスター

利用者ID	漢字氏名	カナ氏名	職種
10001	実証 一郎	ジッショウ イチロウ	医師
10002	実証 二郎	ジッショウ ジロウ	医師
10003	実証 三郎	ジッショウ サブロウ	医師
10004	実証 四郎	ジッショウ シロウ	医師
10005	実証 五郎	ジッショウ ゴロウ	医師
20001	実証 春子	ジッショウ ハルコ	看護師
20002	実証 夏子	ジッショウ ナツコ	看護師
20003	実証 秋子	ジッショウ アキコ	看護師
20004	実証 冬子	ジッショウ フユコ	看護師

病棟

病棟コード	病棟名
31	3A
32	3B
41	4A
42	4B

ベッド(各病室共通)

ベッドコード	ベッド名
1	1
2	2
3	3
4	4

病室(各病棟共通)

病室コード	病室名
01	01
02	02
03	03
04	04
05	05

診療科(CS名:99Z01)

診療科コード	診療科名	診療科コード	診療科名
01	内科	21	性病科
02	精神科	22	こう門科
03	神経科	23	産婦人科
04	神経内科	24	産科
05	呼吸器科	25	婦人科
06	消化器科	26	眼科
07	胃腸科	27	耳鼻いんこう科
08	循環器科	28	気管食道科
09	小児科	29	理学診療科
10	外科	30	放射線科
11	整形外科	31	麻酔科
12	形成外科	32	人工透析科
13	美容外科	33	心療内科
14	脳神経外科	34	アレルギー
15	呼吸器外科	35	リウマチ
16	心臓血管外科	36	リハビリ
17	小児外科	A1	鍼灸
18	皮膚泌尿器科		
19	皮膚科		
20	泌尿器科		

共通情報編

IV. 技術説明

(6) エクスポートファイルのファイル命名規則

<会社ID><会社英名>_<テーマID>_<シナリオNo>_<データ内容>.hl7

※会社ID,会社英名は以下の通り

会社ID(上2桁XX)	参加会社名	英名
11	富士通(株)	fujitsu
12	日本電気(株)	nec
13	日本アイ・ビー・エム(株)	ibm
14	(株)日立製作所	hitachi
15	(株)ソフトウェアサービス	softs

※テーマIDは以下の通り

テーマID	テーマ名
テーマ01	患者情報
テーマ03	オーダ情報(処方)

※シナリオNoは、「シナリオ1」「シナリオ2」「シナリオ3」のいずれか

※データ内容は、以下の通り

データ内容	データの内容
患者	患者情報
処方	オーダ情報(処方)

※アップロード時はWeb審査支援ツールがこの命名規則に沿って自動的にリネームするので、手元のファイルの名前は気にしなくてよい。

※旧バージョンの場合は、ボディ部の最後に_Rnn という形式のバージョン番号が付き、old_versions というサブフォルダの下に置かれる。

※例:IBMがオーダ情報(処方)のテーマのシナリオ3で出力した**最新の**患者情報の場合

「13ibm_テーマ03_シナリオ3_患者.hl7」JAHISデータ互換性専門委員会 JAHIS実証実験2013

共通情報編

IV. 技術説明

(7) 作業場所、電源、IPアドレスなどはIHE-Jコネクタソン用に各社で確保した
ものの中でまかなう。実験用機器および審査用PCのIPアドレスは業務用として
余分に申請する。

(8) ボリュームデータ
今年もボリュームデータの試験は行わない。

※その他共通的な技術情報は、適用ガイドラインの3章に記載

V. その他

(1) 実証実験専用メーリングリストの利用方法
質問に合わせて表題を下記規則に従って記載

- ・ 共通情報編 → 【共通】
- ・ データの互換性 → 【テーマ名】
- ・ その他事務連絡 → 【その他】

共通情報編

V. その他

(2) 実証実験に関する主なイベント

- 8月9日 参加会社内説明資料読み合わせ
- 8月30日 WGにて参加テーマ表明、メールにてML登録ユーザー一覧提出
- 9月上旬 実証実験用ML開設
- 9月上旬 事前検証ツールの配布
- 10月上旬 ポリシー、データ一覧の事前提出期限(新たに対応する項目含む)
- 10月中旬 事前審査結果の個別フィードバック
- 10月下旬 審査員担当予定表の提出

10月28日~11月1日

実証実験本番

- 11月中旬 反省会(実証実験WGにて)
- 12月中旬 JAHISホームページへの結果掲載

共通情報編

V. その他

(3) 参加会社への依頼事項

1. 参加テーマの表明、ML登録ユーザー一覧の提出(※)(8月下旬のWG)
2. 以下の情報の事前提出(10月上旬)
 - －エクスポート・ポリシー、インポート・ポリシー(「ポリシー一覧」シート×テーマ数)
 - －エクスポート・データ一覧(「データ一覧」シート×シナリオ数)
 - －標準コード、ローカルコード間変換表
 - －新たに対応する項目
3. 審査員担当予定表の提出(10月下旬)
4. 個別フィードバックへの対応(実証実験当日まで)
5. 審査用 Note PCの持参(実証実験当日)
 - －無線LAN対応推奨
6. 反省会への積極的な参加(11月中旬)

※会社単位でメールにてIBM木村(e23527@jp.ibm.com)まで送付してください。

(4) ローカル・コード／共通コードのコーディング・システム名(CS名)

標準規約、標準マスター以外のCS名はローカル・コードを含め99zzz形式とする。

⇒使用する共通コードのCS名をテーマごとに事前指定。

⇒ローカル・コード用のCS名は各社で任意に指定する。

ただし、99Zzz形式でかつ共通コード用のCS名とかぶらないこと。

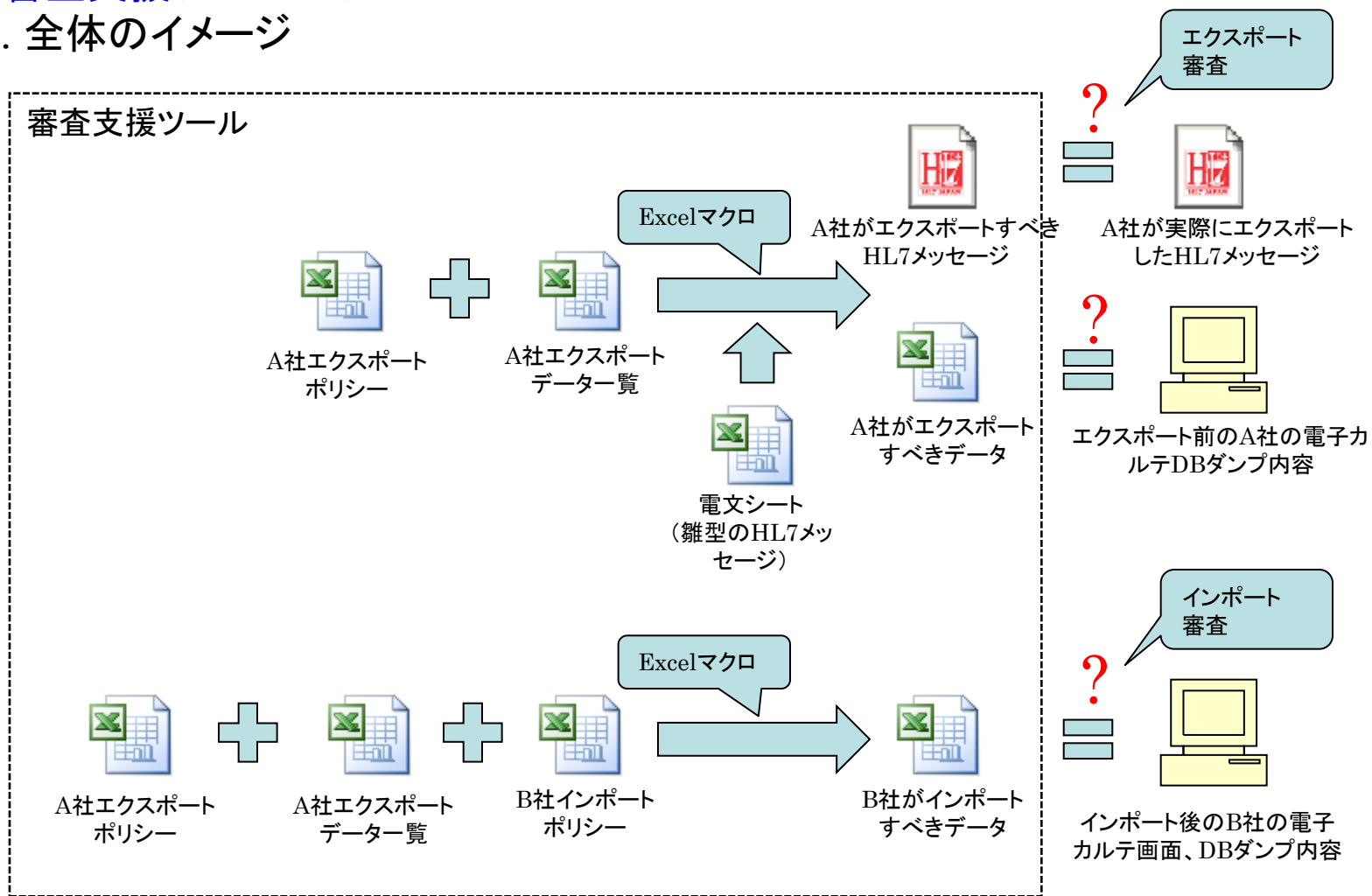
※ローカル・コードのみの出力はNG

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

1. 全体のイメージ



共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

2. 「ポリシー一覧」シート(参加各社から事前提出)

基本データセット項目		処理ポリシー								
カテゴリ	項目名	項目成分	データ型	Exp	備考	Imp (DB)	備考	Imp (画面)	備考	
オーダ 共通情報	医療機関ID		HD	▲	固定値を出力	×		×		
	患者ID		CX	○	内部コードから変換	△	内部コードに変換	○		
	オーダ番号		EI	▲	PGMで生成	×		×		
	版数(オーダ番号)		EI	▲	固定値「01」をセット	×		×		
	入外区分	名称	CD	CWE	▲	内部コードから変換 画面には表示しない	△	内部コードに変換	×	
					△	PGMでハードコード	×		▲	PGMでハードコード
	依頼料	名称	CD	CWE	▲	画面には表示しない	○		×	
					○		×			
	依頼医	ID	XCN	XCN	▲	画面には表示しない	○			
					○		×			
					○		×			
					○		×			
	オーダ更新日時	ID	TS	TS	▲	YYYY-MM-DDの年月日と HH:MM:SSの时分秒の2つの フィールドから合成。 画面には表示しない	△	YYYY-MM-DD HH: 換し、年月日と時分秒 フィールドに分けて格納		
					▲	画面には表示しない	○			
	オーダ マスタ	ID			▲	IDでマスターを検索	×		×	
					○	画面には表示しない	×		×	

シナリオに関係なくテーマごとに1種類

○で変換あり、ない▲でマスター参照以外の場合はここにその内容を記載する
ローカルコードと標準コードの対応表はここに記載せず、別途提出する

DBの内容を
○:そのまま/変換して出力する
▲:他の項目を変換して出力する
null:出力しない

DBの場合:
○:そのまま/変換して格納する
×:格納しない
画面の場合:
○:そのまま/変換して表示する
▲:他の項目を変換して表示する
×:表示しない

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

3. 「データ一覧」シート(参加各社から事前提出)

基本データセット項目					データ	処理ポリシー			エクスポート・データ	
カテゴリ	項目名	SUFFIX	項目成分	#	型	Exp	Imp(DB)	Imp(画面)		
オーダ 共通情報	医療機関ID				HD	▲	×	×	9338084402	
	患者ID				CX	○	△	×	1304000001	
	オーダ番号				EI	▲	×	×	6931CT73201Z041	
	版数(オーダ番号)				EI	▲	×	×	01	
	入外区分			CD		CWE	△	△	×	0
				名称		CWE	▲	×	▲	外来患者
	依頼科			CD		CWE	○	○	×	01
				名称		CWE	▲	×	▲	内科
	依頼医			ID		XCN	○	○	×	10001
				姓		XCN	▲	×	▲	実証
				名		XCN	▲	×	×	一郎
				カナ姓		XCN	▲	×	×	ジッショウ
				カナ名		XCN	▲	×	×	イチロウ
	オーダ更新日時				TS	△	△	×	2011/10/12 17:34:19	
	オーダ更新者			ID		XCN	○	○	×	10001
			姓		XCN	▲	×	×	実証	
			名		XCN	▲	×	×	一郎	
			カナ姓		XCN	▲	×	×	ジッショウ	
オーダ入力端末ID					CX	○	△	×	Z041	
	ステータス				ID	▲	×	×	NW	
管理情報	依頼優先度		CD		CWE	▲	×	×	IMP9P	
			名称		CWE	▲	×	×	IMP9P	
		1	CD		CWE	▲	×	×	IMP9P	

シナリオごとに作成

ポリシー一覧から
コピー

エクスポートする予定のデータを項目ごとに
正確に記載する。

ポリシーは「ポリシー一覧」シート
からインポートする。

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

4. 「審査表」シート

基本データ		データ		備考		ポリシー		インポート (DB)	
カテゴリ	項目名							データ	
オーダ 共通情報	医療機関 ID			838084402	固定値を出力	×	(null)		
	患者ID			00001	内部コードから変換	△	【要】13040000		内部コー
	オーダ番号			831CT73201Z041	PGMで生成	×	(n		
	版数 (オーダ番号)				固定値[01]をセット	×	(n		
	入外区分	CD	CWE	▲ 【他】0	内部コードから変換 画面には表示しない	△	【3		
		名称		△ 【変】外来患者オーダ	PGMでハードコード	×	(n		
	依頼科	CD	CWE	▲ 【他】01	画面には表示しない	○	01		
		名称		○ 内科		×	(n		
	依頼医	ID		▲ 【他】10001	画面には表示しない	○	10001		
		姓		○ 実証		×	(null)		
	名	XCN	○ 一郎		×	(null)			
	カナ姓		▲ 【他】ジッショウ	IDでマスターを検索	×	(null)			
	カナ名		▲ 【他】イチロウ	IDでマスターを検索	×	(null)			
オーダ更新日時			▲ 【他】2011/10/12 17:34:19	YYYY-MM-DDの年月日 と HH:MM:SSの时分秒の 2つのフィールドから合 成。 画面には表示しない	△	【要】2011/10/12 17:34:19		YYYY-MM HH:MM:SS 月日と時 フィールド	
	ID		▲ 【他】10001	画面には表示しない	○	10001			
	姓		▲ 【他】実証	IDでマスターを検索	×	(null)			
	名	XCN	▲ 【他】一郎	IDでマスターを検索	×	(null)			

シナリオ、対戦相手を選択し、「審査表作成」を実行

エクスポートすべきHL7メッセージに問題がないかチェックする

エクスポート会社のエクスポートポリシー、インポート会社のインポートポリシーが表示される

インポート会社がインポートすべきデータとインポート方法、特記事項が表示される。

エクスポート会社がエクスポートすべきHL7メッセージが表示される

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

5. 「ポリシー」シートの備考欄に記載が必要なケース

1) メッセージ上の値を保持したままインポート／表示できない場合

－例1: インポート／表示できる文字の種類に制限がある

－例2: 内部コードに変換する

⇒ 内部コードと標準コードの対応関係がわかるよう記述する

－例3: データの精度が失われる(日時のうち日付しか取り込めないなど)

－例4: 和暦で表示する

以下のような違いは記載不要

－カタカナの全角、半角の違い(コメント含む)

－日付(和暦を除く)、時刻のフォーマットの違い

－予定時刻の秒の有無や違い

2) ポリシー値が▲で、マスター以外の方法で値を取得する場合

－例1: 名称をハードコードしている

3) 状況によってポリシーの値(○、▲、×)が変わる場合

－例1: 「部位」は外用の場合しかインポートできない

4) データ項目間での値の統合やコピーが発生する場合

－例1: 転帰日と終了日に転帰日と同じ値を出力する

－例2: 転帰日があればその値を、なければ終了日を取り込む

共通情報編

V. その他

(6) インポート・ポリシーの値(O、▲、×)の違いについて

—DBへの格納(DBで審査)

○: インポートしたデータをそのまま/変換して格納する

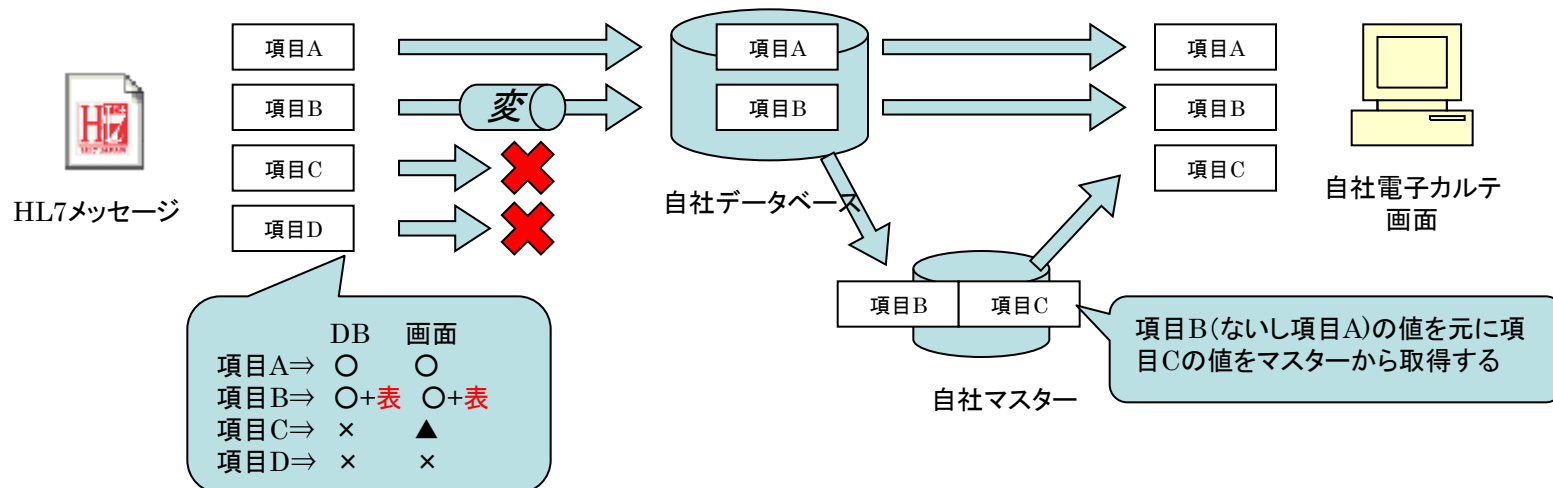
×: 格納しない

—画面表示(画面で審査)

○: インポートしたデータをそのまま/変換して表示する

▲: インポートした他の項目のデータを使用してマスター等から取得した値を表示する

×: 表示しない



共通情報編

V. その他

(7) Web審査支援ツール

1. 機能拡張の内容(予定)

- － 審査員別ジョブ一覧
- － 審査の「保留」機能
- － 審査員、参加者間のコミュニケーション機能
- － メッセージ・アップロード時の自動チェック
- － 審査依頼の絞り込み条件に「依頼中・審査中」を追加
- － Exp審査終了時のメッセージファイルの移動の自動化
- － Exp審査が合格しないとImp審査ができないよう審査開始時にチェック
- － 対戦表で3社合格になると背景色を変え、「(合格)」と表示 etc.